



The Japanese School in Perth
パース日本人学校

Southern Cross

2021 No.12



3月9日発行

Web-site www.japaneseschool.wa.edu.au

e-mail: toiwase@jps.wa.edu.au

「Do Your Best and It Must Be First Class」

パース日本人学校
校長 中丸 俊晴

本日で、令和2年度における教育活動が終了しました。様々なことがあった1年間でしたが、皆様のご協力のもと、無事に本日をむかえることができました。心から感謝申し上げます。

さて、今日の卒業式で話した内容ですが、タイトルは、ポール・ラッシュ博士の言葉で「何事にも最善を尽くしなさい。一流を目指しなさい」という意味です。長野県に清里という高原がありますが、ポールラッシュ博士は、山の寒い場所で米作りに適さなかったこの清里高原で、酪農西洋野菜の栽培促進による開拓支援を行い、清泉寮という施設をつくりました。このポール博士は、28歳で来日してから82歳で亡くなるまで、生涯をかけて日本の社会事業に身を捧げました。また、大学の教授として経済学や英語の教育をおこなうとともに、アメリカンフットボールの日本での普及に尽力した人でもありました。

「Do Your Best and It Must Be First Class」もう少し意味を詳しく言うと「人が一生において取り組むべきことは、お金や栄誉のためだけではない。正義のために、そして他の人々の向上のためになるよう、最善をつくしなさい」という意味です。

来年度も、すべての人々の向上につながるよう、教職員の総力でパース日本人学校を創り上げていきたいと思えます。

新派遣の先生たちの赴任予定日が決まりました。

- 4月10日（土）成田発シドニー行き
- 11日（日）シドニー着（着後2週間のquarantine）
- 24日（土）quarantine明け 国内線にてパース入り
- 5月 3日（月）勤務開始

来年度の授業について

4月15日（木）より4月30日（金）まで
一部オンライン授業を行います。

対象学年

小6 算数（5時間）

中1 国語（4時間）

中2 社会（3時間）

始業式と入学式

日時 令和3年4月15日（木）
始業式 8時40分より
入学式 10時30分より
午前授業になります。

長期休業

（1）学校への問い合わせ

平日午前9時から正午までの時間帯にお問い合わせください日直の教職員が管理棟で勤務しています。

（2）工事

教室からトイレまでの屋根の設置工事を行います。

お詫び

以前配布したお手紙（1月12日配布）の中で本年度の水泳指導の予算を\$78としていましたが、実際にかかった値段は\$149と大幅な増額となってしまいました。増額の理由は、レッスン料の算出方法に変更があったためですが、来年度はこのようなことがないようにしっかりと確認をしていきたいと思えます。

お世話になりました 離任のご挨拶

佐々木 佳奈

保護者の皆様、三年間大変お世話になりました。2018年に赴任した当時は、City beach小の隣に引っ越してきたばかりで、何もかもまさらだったなと懐かしく思います。また、最高の環境で教育に携わることができる喜びがひとしおだったことも、昨日のように覚えています。時が経つのは本当に早いです。

私なりに感じたパース日本人学校のよさをここで3つあげさせていただきます。

1つ目は、少人数であるということ。学校職員は、一人ひとりを丁寧に見取りながら個性を伸ばすお手伝いができます。子どもにはきらりと輝く部分がありますので、それをゆっくりじっくり育てて行けるのは日本人学校のよさです。

2つ目は、最新の日本の教育を受けられるということ。文科省派遣の教員は日本での学校現場で何年か経験を積んでから来ていますので、日本の学校と全く同じ教育を受けることができます。また、それらの情報は、研修等で全教職員と共有しています。

3つ目は、隣にCity beach小学校があるということ。CBPSの子と話してみたい、行事や休み時間で顔見知りになった子とずっと話して仲良くなりたい、そういった「英語を使ってみたい」という気持ちになれる環境であることが、素晴らしいですし、今後大人になったときにも「英語を使いたい」という気持ちが非常に大切になってくると思います。相手に気持ちを伝えたい！と、一生懸命片言でもいいから話してみたら、ちゃんと気持ちは伝わる、そういった経験を積める環境であることは、最大のメリットであり、生かさない手はないです。

そして、素直でかわいい子どもたち、いつも学校に協力的で温かな保護者の皆様・・・。
パース日本人学校で、三年間勤めることができ本当に幸せでした。ありがとうございました☺

青木 昭博

みなさんのおかげで、一生忘れることのできない最高に幸せな3年間を過ごさせてもらうことができました
有り難うございました。

沢山笑って、沢山学んで、毎日が宝物のような日々でした。

朝、光輝く笑顔で挨拶をしてくれて、有り難う。

すれ違う時、話しかけてくれたりちょっかいをだしてくれたりして、有り難う。

授業を真剣に、楽しんで受けてくれて、有り難う。

授業中、積極的に手を挙げて発表してくれて、有り難う。

休み時間、外遊びに一緒に行こうと誘ってくれて、有り難う。

サッカーやバスケット、おにごっこなどなど、全力で一緒に遊んでくれて、有り難う。

中学部のお楽しみ企画に参加して、一緒に楽しんでくれて、有り難う。

生活班対抗レクに仲間とのチームワークを大切に参加してくれて、有り難う。

ランチタイムに、沢山話をして、お互いのことよく知り合ってくれて、有り難う。

大きな口を開けて、一生懸命歌ってくれて、有り難う。

お願いをすると、笑顔で引き受け、サッと動いてくれて、有り難う。

どんな行事にも、前向きに参加してくれて、有り難う。

仲間と声を掛け合い、協力して学校をきれいにしてくれて、有り難う。

感謝の気持ちを言葉や文字などで、しっかりと伝えてくれて、有り難う。

お互いの誕生日をサプライズでお祝いしてくれて、有り難う。

新しい仲間がくると、歓迎して迎え入れてくれて、有り難う。

学校外で会っても、笑顔で挨拶してくれたり話しかけてくれて、有り難う。

学校外でも、釣りやサーフィンなど一緒に楽しい時間を共有してくれて、有り難う。

・・・などなど。

みなさんへの感謝の気持ちは尽きることはありません。

沢山の素晴らしい思い出を有り難う。みんなのことが大好きです。また、会いましょう。

六田 将司

私が着任したのは2018年。パース日本人学校が40周年を迎えた年でした。「そんな記念すべき年に赴任できるなんて！」と思っていたら、City Beach Primary Schoolの敷地内に移転し、パース日本人学校が新しいスタートを切るというではありませんか！そんな未知の体験に胸を躍らせ始業式を迎えたことを今でも…実はあまり覚えていません（笑）。というのも、パースに到着後5日で始業式・入学式・40周年記念式典のビッグイベントを迎えるということで、記憶にも残らないほど慌ただしく準備…という激動のスタートでした。

あれから3年。パース日本人学校で過ごした時間全てが私にとってかけがえのない時間となりました。

JSPの子どもたちは本当に素直で、がんばり屋です。今年は特に新型コロナウイルスの影響で様々な行事が中止になる中、「自分たちの力で学校を楽しくしよう！」と奮闘する子どもたちの姿には感動させられました。自分たちでレクリエーションを考えて行ったり、係りや委員会の仕事も工夫して取り組んだりとまっすぐに一生懸命取り組む子どもたち。コロナのせいで、学校も子どもたちも衰退するのではなく、むしろ力強く、たくましく成長したように感じました。

保護者の皆様には3年間大変お世話になりました。昨年の4月は学校がオープンしないかもしれないという中、保護者の皆様にはたくさんのご協力をいただきました。苦しい1年間でしたが、そんな中「大変ですね」「無理しないでくださいね」とかけていただく声がどれだけ力になったことか。皆様に支えていただいた3年間

でした。

　　パス日本人学校の子どもたち、そして保護者の皆様本当にありがとうございました